

課題解決型学習「プロジェクトZERO生徒研究発表会」の実施について ～宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共同開発の教育プログラム～

- 京都工学院高校(以下、本校)は、京都市教育委員会と「宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA)宇宙教育センター」との「宇宙航空教育」を推進するための連携協定(平成27年12月締結)により、「宇宙航空教育の推進モデル校」に指定されています。
- この度、その一環として、JAXA宇宙教育センターとの連携協力のもと取り組んできた課題解決型学習「プロジェクトZERO」の生徒研究発表会を実施します。
- 本学習では、昨年夏に科学技術のプロフェッショナルとして第一線で活躍されている JAXAの研究員に設定いただいた、下記の5つの宇宙航空に関する課題(ミッション)に取り組み、全生徒が各研究員に指導助言いただきながらグループワークを進めてまいりました。
- 当日は、JAXA研究員や京都大学総合博物館 塩瀬隆之准教授をはじめとする工学関係の専門家等に講評いただきながら、代表5チームの生徒による成果発表を実施します。また、生徒発表後に、塩瀬准教授に科学技術教育に関する講話をいただきます。
- 今後とも本校では、継続的にJAXAと連携し、年間を通した先端的な宇宙教育プログラムの共同開発を図ってまいります。

記

- 1 **日時** 平成29年2月21日(火) 13:00～16:00
- 2 **場所** 京都市立京都工学院高等学校 中央棟ホール(京都市伏見区深草西出山町2-3)
- 3 **日程**
 - 13時00分～ 学校長挨拶、来賓紹介、趣旨説明
 - 13時20分～ ミッション代表5チーム発表
 - 15時00分～ 休憩
 - 15時15分～ 講評・講話 塩瀬隆之氏(京都大学総合博物館准教授)
 - 16時00分 終了予定

※午前中に校内でミッションごとに予選会を実施し、JAXAの研究員に講評・審査いただき、5つの代表チームを選考します。

4 「プロジェクトZERO」で取り組む宇宙航空に関するミッションについて

※()内は各ミッションにおけるJAXAの担当研究員

- 1 『より長く、より高く飛べる気球の概念設計』(梯 友哉 研究員)
- 2 『小惑星での試料採取システムの概念設計』(加藤 裕基 研究員)
- 3 『宇宙ビジネス用輸送システムの概念設計』(古賀 勝 研究員)
- 4 『省資源で製作可能な月面の有人拠点の概念設計』(澤田 健一郎 研究員)
- 5 『時間をかけてでも取り組む必要のある基盤研究において資金を獲得する方法』(山中 理代 研究員)



■本件に関する問合せ先
京都市立京都工学院高等学校
企画推進部主任 上野 僚
TEL:075-646-1515(代表)